

部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	鈴木 孝行	電話	483-1151 内線3560
-----	-------	-----	-----	------	-------	----	-----------------

## 1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3261	事務事業名称	水田対策事業				短縮コード	経常	3261	臨時	3689	
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律、八千代市生産調整対策事業助成補助金交付要領							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
昭和46年から農林水産省による米の生産調整が始まった。これは米の過剰な生産を抑制することで米価の安定を図ることを目的とした事業であった。よって、主要食糧の需給及び価格の安定を図るため、米の需給調整を円滑に推進する。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして					
平成14年12月に、平成22年度における「米づくりの本来あるべき姿」の実現を目標とする米政策改革大綱を決定され、米を取り巻く環境の変化に対応して、消費者重視・市場重視の考え方に立った需要に即応した米づくりの推進を通じた水田農業経営の安定と発展を図っている。こうした中、平成19年度から水田において米も含めた品目横断的経営安定対策が導入されることを踏まえ、平成16年度から18年度までの3ヶ年の対策として講じられた産地づくり対策、稲作所得基盤確保対策、担い手経営安定対策及び集荷円滑化対策について、品目横断的経営安定対策との整合性を図りつつ、米政策改革大綱の趣旨に沿った見直しが行われた。また、米の需給調整について、水田における品目横断的経営安定対策の導入と併せ、平成19年度から農業者・農業者団体の主体的な需給調整システムへ移行することとなった。この新たな需給調整システムについては、農業者・農業者団体が国・都道府県から提供される需給に関する情報や市場のシグナルを基に、自らの販売戦略に即して、生産を実行していくシステムである。今後は、米政策改革の着実な取組を進めるとともに、新たな需給調整システムの定着が円滑に行えるよう、担い手確保と連携を図りつつ事業を実施する。					大項目（節）	01	農業					
					中項目	01	農業					
					小項目（施策）	01	農業生産基盤の整備と利活用					
						02	農業経営体の育成					
					細項目	03	ほ場の整備					
				02		農業経営の合理化と法人化						
実施計画の計画事業												
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円				

## 2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 (誰を何を対象にしているのか)	水稲生産農家(生産調整) J A八千代市						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成18年度に実際に行ったこと： 千葉農林振興センター主催の生産調整関係会議の出席、生産調整推進委員長(農家組合長)会議の開催、水田実施計画書の作成、転作現地確認事務、八千代市地域水田農業推進協議会への参画、地域水田農業ビジョンの見直し。  ※平成19年度に計画していること： 千葉農林振興センター主催の生産調整関係会議の出席、生産調整推進委員長(農家組合長)会議の開催、水田実施計画書の作成、転作現地確認事務、八千代市地域水田農業推進協議会への参画、地域水田農業ビジョンの見直し。						
意図 (何を狙っているのか)	米の需給及び価格の安定。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	・米価が安定し農業経営が安定する。 ・基盤整備された水田の利活用。						
区分	指標	内容	単位	17年度 実績	18年度 計画	18年度 実績	19年度 計画
対象指標	指標1	生産調整実施農家数	戸	512	560	470	219
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	会議・説明会等への出席日数	日	28	30	8	8
	指標2	現地確認等の活動日数	日	32	30	20	20
	指標3						
成果指標	指標1	生産調整目標面積の達成率	%	100.94	100	109.95	100
	指標2	生産目標数量	t	1,765.3	1,670	1,670	2,006.4
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3261	事務事業名称	水田対策事業		所属名	農政課	
	単位	17年度		18年度		19年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	577	577	1,106	1,277
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	10,384	11,123	9,569	10,841
		その他	千円	0	0	0	0
主な事業費の内訳		農家組合長等活動謝金338千円 転作関係パソコン使用料等 1,737千円生産調整対策事業補 助金6,586千円 植物防疫事業 補助金 2,300千円	農家組合長等活動謝金390千 円 転作関係パソコン使用料 等 1,807千円生産調整対策 事業補助金7,203千円 植物 防疫事業補助金 2,300千円	農家組合長等活動謝金 329千 円 転作関係パソコン使用料等 1,788千円 生産調整対策事 業補助金 5,688千円 植物防 疫事業補助金 2,300千円	報償費 390千円 普通旅費 25千円 消耗品費 292千 円 印刷製本費 123千円 委託料 504千円 使用料及 び賃借料 668千円 負担金 198千円 補助金 9,918千 円		
人件費(B)		千円	66,302.4	60,534.5	23,952.5	23,952.5	
トータルコスト(A)+(B)		千円	77,263.4	72,234.5	34,627.5	36,070.5	

### 3. 事務事業の評価(SEE)

評価 類型	評価事項	評価区分	理 由			
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている <input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	上位施策（「農業経営体の育成」及び「農業生産基盤の利活用」）により、米以外の作物の生産が可能となり、米の需給調整が図られ、米価が安定し、農業経営の安定が図られてることから、上位施策に結び付いている。			
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している <input checked="" type="checkbox"/> 達成していない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	米価を安定させ農業経営の安定を図るため、継続的に行う必要がある。			
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	補助事業を含めた事業であるため。			
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 見直す必要がある <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	米の需給の安定を図ることにより、米価が安定し農業経営の安定が図られる。			
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 両方可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	補助事業を含めた事業であるため。			
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し				
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し				
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	2		実施主体 (所管部署)			
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない					

コード	3261	事務事業名称	水田対策事業			所属名	農政課																					
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他		農業情勢の動向に注視し、適宜事務の見直しを行う。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																									
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>								経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		経 費																										
		削 減	不 変	増 加																								
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
米政策の見直しにより、担い手の育成に資する支援について要望がある。	

所属長コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国が示す「米づくりの本来あるべき姿」への対応については、本市の特性等を勘案し、関係農業者等と十分な協議が必要である。</li> <li>・妥当な評価である。</li> </ul>		
評価調整委員会意見	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続		
	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。		